



復期入院機能と在宅医療部門の充実を図り、地域包括ケアシステムの中軸としての役割をさらに強化するとともに、経営の健全化に努めながら、「地域住民から信頼される病院」の基本理念のもと、良質で安心な医療を提供していきます。

施策の柱「定住化」

良好な住環境の確保

住宅施策では、定住促進・転出抑制に向けた対策を強化するため、新たな子育て支援住宅の整備に向けた設計業務に取り組んでいきます。

新たな人の流れの形成

関係人口の拡大に向け、首都圏白鷹会や、仙台しらかか会、山形市白鷹ふるさと会の支援を行うとともに、新潟県長岡市栃尾地域、宮城県気仙沼市などのゆかりのある地域との交流や災害相互応援協定を締結している自治体との交流を推進していきます。

また、地方への新しい人の流れをつくるため、本町においては、積極的な情報発信やPR・宣伝活動、移住交流の総合的な相談窓口を設置し、若者の移住定住に対する経済的

支援や、県・J・Aと連携した食の支援、国・県と連携し、仕事をマッチングさせて首都圏から地方へ移住を促す支援制度を活用するなど、引き続き、ふるさと移住応援プログラムを実施していきます。

コンパクト・プラス・ネットワーク それぞれの地域内における各種サービス機能を

集約し拠点化すると同時に、地域と地域がネットワークでつながり相互補完する「コンパクト・プラス・ネットワーク」の視点でまちづくりを進める必要があります。新たな都市計画マスタープランに基づき、コンパクトで持続可能な都市の形成に向け、立地適正化計画の策定に取り組んでいきます。

ネットワークの機能を果たす地域公共交通については、山形鉄道株式会社との経営改善に向けた支援を、引き続き、県および沿線2市2町が連携して取り組みつつ、デマンド型乗合タクシーについては、町外延伸の実証実験を行い、利便性の向上に向けた取組を進めていきます。

また、地域拠点の一つであり、施設の老朽化が課題となっている東根地区コミュニティセンターについては、大規模改修工事に着手し、拠点としての利便性や機能の向上を図つ

ていきます。さらには、福祉型小さな拠点形成のための立ち上げを支援していきます。

そのほか、引き続き、関係市町と連携し、置賜定住自立圏共生ビジョンを推進していきます。

行政改革の推進

行財政改革については、新たに第6次行財政改革大綱を策定したところであり、本大綱に基づき、第6次白鷹町総合計画に掲げる施策を効率的・効果的に実現するための組織づくり、人づくりを進めていきます。

また、効率的行政を推進するため、引き続き、共同電算処理や電算システムの共同アウトソーシングを行っていきます。そして、本年度は行政施策の基礎となる国勢調査の年となっております。各種統計調査とともに確実に取り組んでいきます。

以上、令和2年度の施政方針として、本町のさらなる発展と住民福祉の向上に向け、全力で取り組んでいきます。

— 令和2年度施政方針から —





め、各地域では、地域づくりの拠点であるコミュニティセンターを中心に、地域課題の解決に向け議論を重ねていただいております。地域の特徴を活かした新たな取組も開始されてきております。今後も、各コミュニティセンターが地域づくりの拠点となり、地域の創意工夫が発揮されるよう、地域づくり推進交付金などによる支援を継続していきます。

持続可能な循環資源の利用

環境保全の取組については、環境保全活動、環境情報の提供などに携わる団体や事業者と互いに連携を図りながら、持続可能な美しいまちづくりに向けて取り組んでいきます。

また、地球環境の保全に寄与するため、再生可能エネルギーの活用を推進し、個人住宅の太陽光発電設備の設置に対する助成や、森林資源の活用を目指した木質バイオマス燃焼機器の設置に対する助成を継続して実施していきます。

定住条件の充実

道路交通網の整備については、

方道長井白鷹線荒砥橋架替工事が完成し、いよいよ供用が開始されることとなります。引き続き、国道287号菖蒲下山地内や長井〜白鷹

間西廻り幹線道路の早期着工など、幹線道路網の整備促進に向けた取組を実施していきます。

町道維持・整備では、個別施設計画に基づき長寿命化のための舗装改修をはじめ、計画的な道路改良・維持補修などに取り組みつつ、橋梁安全対策として、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化している町道橋の詳細設計や補修工事を計画的に実施していきます。

下水道事業では、荒砥橋架替に伴う関連工事を進めるとともに、農業集落排水施設の公共下水道への統合に向けた工事を実施していきます。

また、令和5年度の移行に向け、地方公営企業法適用への移行事務に取り組んでいきます。

さらに、町全域の生活排水処理率の向上を図るため、町設置管理型による合併処理浄化槽の設置を推進しつつ、新たに宅内配管の整備を支援していきます。

水道事業では、荒砥橋架替に合わせ給水体系を強化するため配水管の整備を進めるとともに、老朽化した機械設備の更新を計画的に進めていきます。

保健・医療・福祉の充実

高齢者福祉については、地域住民が主体となつ

て運営する「居場所」づくりを支援し、参加する誰もがいきいきできる場の確保に努めるほか、認知症高齢者や障がい者の権利擁護を推進するべく、置賜定住自立圏による（仮称）置賜成年後見センター設立に向けて、関係機関と連携を強化し取組を進めていきます。

障がい者福祉については、「白鷹町障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」に基づき、すべての町民が障がいの有無に関わらず、ともに支え合いながら安心して暮らすことのできる「共生社会」の実現に向け努力していきます。

本町医療の拠点である町立病院の運営につきましては、外来・入院・在宅・救急診療や健診などの業務を継続的に行い、高度急性期病院との医療連携、町内医療機関との協力を図りながら、地域医療の中核を担っていきます。

健康づくり事業については、健康寿命の延伸を目指し、生活習慣病予防・重症化防止に取り組んでいきます。特に、様々な病気の要因となる高血圧の予防に関し、「推定食塩摂取量検査」を新たに実施し、自己の食生活を「見える化」することによる減塩の取組を推進していきます。山形県地域医療構想に対応し、回

